

平成29年度 「子ども司書養成講座」について

「子ども司書」とは

- 図書館実習等により司書の役割を学習した、将来の子どもの読書活動のリーダー
- 自ら読書を楽しみ、学校や地域で友達へ読書の楽しさを伝える活動を行う

- 1 目的 大分県の子どもの読書活動を活性化させるため、県立図書館や地域の図書館で司書の役割を学ぶ講座を実施し、学校や地域の図書館で読書の楽しさを伝える活動を行う「子ども読書リーダー」（子ども司書）を育成する。
- 2 主催 大分県教育委員会・市町村教育委員会
- 3 受講生 モデル実施市町村の小学3～6年生 計 83人
※平成29年度実施市町村：宇佐市、国東市、姫島村、大分市、臼杵市、由布市、佐伯市、日田市、玖珠町、九重町
- 4 期日・内容 全10回程度

開催日	開催場所	内容（予定）
7月27日（木） 10時30分～15時	県立図書館	<全体研修①> 【内容】図書館の仕事、本の並び方と分類、読み聞かせの方法、友達に読書をすすめる作戦をたてよう 等
※8～10月 (4～6時間程度)	市町村立図書館 公民館図書室	<図書館実習> 【内容】カウンター業務、本の整理、図書館の行事参加 等
10月15日（日） 10時30分～15時	県立図書館	<全体研修②> 【内容】県立図書館の裏側探検、本を紹介するための手法（ブックトーク、本の紹介カード作り） 等
10月～1月	学校 市町村立図書館	<活動> 認定の要件として、学校や地域の図書館で活動し、日記を提出する（目標4回）
1月28日（日） 10時30分～15時	県立図書館	<子ども読書サミット>（自由参加） 【内容】児童文学作家による講演会、子ども司書の実演等

- 5 活動任期 翌年（平成30年度）の1年間（継続を依頼する場合有）
(学校での読書推進活動や県・地域の読書イベント等への協力を行う)